

# 菖蒲春高会会報

第7号

平成23年12月発行

発行責任者

平澤 憲

## 『恒例の菖蒲春高会開く』

菖蒲春高会会長 平澤 憲

時の流れは早いもので、菖蒲春高会は平成八年発足以来十四年を迎えることが出来ました。振り返りますと母校百周年記念事業の一環として全国各地の支部が結成されました。支部規模の大小はありますが、本会は小規模ながら毎年充実した総会、懇親会が継続されています。本年も去る十月三十日（日）錦秋のさわやかな日和のもと、ご来賓として本部副会長の中村行生先生をお迎えし、恒例による平成二十三年度の総会懇親会が開催されました。大浜の会場には本部事務局長戸井田先生からご配慮いただいた校旗の前で記念撮影後、総会に入りました。次第に従い、事業、決算の報告、二十三年度の事業計画案、予算案も原案通り和やかな中で承認されました。

一部事業計画で、二十四年度は発足以来十五周年を迎えますので、特別事業を計画することで記念事業としたい旨、事務局から提案があり、日程については、十月三十一日（日）に開催する事に決まりました。具体的には、後日の役員会で検討しますが、皆様方からご意見ご希望をお聞かせ頂ければ幸いです。さて、懇親会に移り、中村先生からは、同窓会活動の現状についての講話を頂く中で、ゴルフコンペと二月のセンチニアルオペラに加え、新しい事業として「春高ウオーク」を企画しました。今回は第一回目として春日部市で開催されましたが、今後は持ち回りで開催されるのとこのことでした。また、人物風土記では高十七回生の堀部和政さんが紹介されました。

宴たけなわの中、クライマックスである一人ひとりの近況報告が始まり、同窓会の気楽さから思い思いの近況を時の経過も気にすることなく談笑で最高に盛り上がりました。最後に、応援団の一人「呈健太郎さん」の指揮により声高らかに校歌を斉唱し閉会致しました。

菖蒲春高会の方々は、今や現役として重要な立場でご活躍される中で大変ご多忙にもかかわらず、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。二十四年度の十五周年事業も計画しておりますので、お差し繰り、ご出席くださいますようご案内申し上げます。躍をお祈りし、ご報告といたします。

☆☆☆☆

## 『分厚い運営に心から敬意』

春日部高等学校同窓会  
副会長 中村行生

若手会員も参加する総会をはじめ会報発行も加えて、分厚い運営をされている菖蒲春高会に心から敬意を表したいと思います。

今年も温かい雰囲気の中で総会が開かれますことを、楽しみにいたしております。

ここに、本部で今取り込んでいます事業をご報告させていただきます。六月の本部の総会には例年三〇〇人を超すご参加をいただいておりますが、これは、二十一前からはじめました「ホーム・カミング・デー（母校へ帰る日）」という招待制度もひとつの要因かと思えます。卒業後五十年の学年、五十歳になる学年、四十歳になる学年を総会にご招待するものです。来年からはさらに三十歳も招待することが総会で決まりました。

また、川口地区にも春高会を作ろうという意向があり、いまその準備をすすめています。さらに「春高ウオーク」を今年からはじめまして、十月二十九日、春日部市で六十人のご参加を得て行われました。

（※この原稿は、総会開催前に書かれたものであります。）





【平成 22 年度総会 (H22. 10. 31)】

- 【平成 22 年度総会の概要】
- 開催日 平成 22 年 10 月 31 日(日)
  - 会場 大浜
  - 参加者 16 名(内来賓 2 名)
  - 総会承認事項
    - ・平成 21 年事業報告及び決算報告
    - ・平成 22 年度事業計画及び予算
    - ・役員の改選(平成 22 ～ 23 年度)
- 《役員名簿》
- ◇会長…平澤 憲
  - ◇副会長…平澤 卓・堀部和政
  - ◇監事…小山典宏・平澤栄蔵
  - ◇幹事…蓮見秀夫
  - ◇事務局・会計…斎藤武雄・黒川 哲也

【菖蒲春高会事務局】

担当：斎藤武雄

〒346-0105  
 埼玉県久喜市菖蒲町  
 新堀 2579-2  
 TEL (FAX) : 0480-85-7778  
 E-mail : nyanko19570705@yahoo.co.jp  
 ※ご意見、情報等があれば気軽に事務局までご一報ください。

◎平成 24 年度の総会は、平成 24 年 10 月 21 日(日)開催の予定です！



【平成 23 年度総会 (H23. 10. 30)】

- 【平成 23 年度総会の概要】
- 開催日 平成 23 年 10 月 30 日(日)
  - 会場 大浜
  - 参加者 11 名(内来賓 1 名)
  - 総会承認事項
    - ・平成 22 年事業報告及び決算報告
    - ・平成 23 年度事業計画及び予算

『支部訪問記』

～宮代春高会美術展～

菖蒲春高会会長 平澤 憲

宮代支部は会員数も多く組織的活動も活発で、他支部には見られない特色があります。特に多くの部活動が組織され、大変充実しています。

その中で、会報を通して美術クラブの展覧会を知り、それ以来毎年案内状を頂き鑑賞させていただいております。

今回も錦秋の十一月十五日(金)に私と岡安副会長で参加しました。会場の町立図書館は多くの参会者で賑わい、作品の数々に目を通していました。受付で記帳し、目に飛び込んできたのは、野口吉治様大作、水墨画の数点であります。中国の掛け軸を思わせる繊細な作品に感動いたしました。案内に従って進みますと、絵画、書、写真、パッチワークなど一般の方の作品も目を見張るばかりでした。

会場を一周する中で、途中、書の作品に見入っていますと女性の方の解説があり、その方は書の先生で高橋朝子様という方でした。お話がはずみ、お茶を頂きながら談笑が続く中で、身近な方の話題ものぼり近親感を持ちました。話題も広がり、高橋先

生は書家としてはもちろんのことですが、詩吟においても吟道館流師範として広く活躍されているとのことでした。菖蒲春高会は、二十四年度は十五周年事業がありますので、高橋先生をお迎えして持ち前の詩吟や歌謡、お話などで会を盛り上げたいと思いますので、その折は多数のご参加をお待ちしています。

